

2009年1月1日

第59号

発行：日本臨床検査技師連盟  
発行人：小崎繁昭

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆◆ 連 盟 ◆◆◆

今号の主な内容

- ◇ 年頭所感
- ◇ 診療報酬疑義解釈 他
- ◇ 平均年収第51位
- ◇ 平成20年度加入数

## 新春のお慶びを申しあげます

年頭所感



昨年は自然災害はもとより、世界経済の大黒柱とも言うべき米国の金融業界に激震が走り、その余波は我が国の経済にも多大な影響を及ぼしました。殆どの会員の皆様は、保険収入により経営が成り立つ施設に勤務されていると思いますが、その財源は税金ですから、今年も明るい話題は期待出来そうにありません。

しかし、どんな状況下においても『患者様の為の医療』を展開する事は我々の使命であり微塵たりとも手を抜く事は許されません。そこで、保険収入の財源である税金を動かす『政策』に関わる事が出来る手段～日本臨床検査技師連盟（政治連盟）～の活動を通じて働き易い環境を整え、職務を全うするのが、技師連盟会長である私の理念であります。議員連盟を立ち上げた事で、政策の方向性がいち早く掴め、更に検査の保険点数改訂の動向も迅速な情報が入るようになりました。また、先の臨床検査技師法改定における原動力になった事は言うまでもありません。これは、厚生労働省との駆け引きを継続し、待ち続けていただけでは到底実現には至らなかった事業です。このように、職能団体として真摯に業務と向き合うだけでは残念ながら片手落ちになってしまいます。是非、臨床検査技師の法的身分向上を図るためにも技師連盟は末永く大切に育てて頂きたいと思っております。

しかし、私達自身も、今現在だけではなく、後に続く臨床検査技師の未来を少しでも希望が持てる明るいものにするために、努力しなければなりません。それには『姿の見える検査技師』になる必要があります。せっかく『臨床』という文字を頂いているのですから、その現場へ赴く業務を展開したいものです。

例えば病棟でベッドサイド採血を行う、SMBGを指導する、等々。また、何も患者さんにだけとは限りません。POCTの整備、心電計のメンテナンスは看護職とコミュニケーションを確立する足がかりになります。病院の職員全員に検査技師の姿が見えれば、我々の持つ能力の有効利用が新たに見つかると思っております。

とはいえ、これには限界があります。医療法が我々の行動範囲を制限するからです。この医療法をより良いものに改訂すべく、検査技師一人一人が意識を持って取り組まなくてはなりません。それにはまず、技師連盟会員を増やす必要があります。数は力になるからです。

今こそ、個人のイデオロギーを超えて、臨床検査技師の活躍の場を拡大すべく団結する時です。会員の皆様、一人でも良いです。同じ職場で、まだ技師連盟に名を連ねていない検査技師がいましたら声を掛けてください。この活動を通じて成し得た成果は、臨床検査技師の明るい未来を築くと同時に、患者様にとっても明るい未来であるはずだからです。

今こそ、個人のイデオロギーを超えて、臨床検査技師の活躍の場を拡大すべく団結する時です。会員の皆様、一人でも良いです。同じ職場で、まだ技師連盟に名を連ねていない検査技師がいましたら声を掛けてください。この活動を通じて成し得た成果は、臨床検査技師の明るい未来を築くと同時に、患者様にとっても明るい未来であるはずだからです。

2009年元旦

日本臨床検査技師連盟会長 小崎 繁昭

### 厚生労働省、診療報酬改定疑義解釈<6>を通知

厚生労働省は、診療報酬改定の疑義解釈<6>を昨年12月26日、地方厚生局などへ通知した。入院時医学管理加算の施設基準に盛り込まれた「治癒」の定義を「退院時に、退院後に外来通院治療の必要が全くない」とする考えを明確に示した。過去の疑義解釈の「それに準ずると判断されたもの」については「基本的にない」との見解を示している。厚労省は昨年10月の疑義解釈で「治癒」の定義について「退院時に、退院後に外来通院治療の必要が全くない、またはそれに準ずると判断されたもの」との見解を示していた。

### 死亡者が114万人に・・・

昨年の死亡者数が前年比3万5000人増加の114万3000人を数え、戦後最多数になる見通しである。これは、厚生労働省2008年人口動態の年間推計によるもので100万人を超える死亡者数は6年連続となる。死因別では、がん<34万

3000人>が最も多く、心疾患<18万4000人>、脳血管疾患<12万6000人>と続く。自然増加数（出生数－死亡数）は、出生数が前年から2000人増加したことによりマイナス5万1000人と前年から3万2000人減少する結果となった。

### 医療課長、業界紙に語る・・・

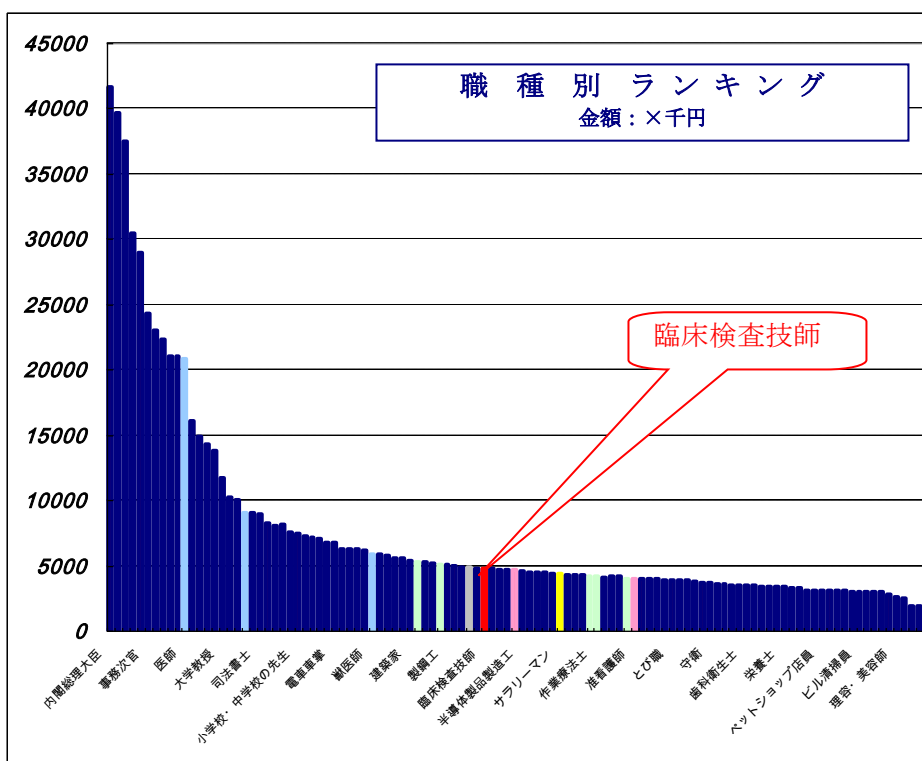
厚生労働省保険局医療課長は業界紙の取材に応じ、2010年に行われる診療報酬改定に向けた議論の方向性を語った。

外来管理加算は、診療行為別調査や医療経済実態調査をふまえて、外来管理加算をはじめとする基本診療料が議論される見通しを語った。従来から論議のものとなっている「ドクターフィー」については、定義の明確化が必要であり、その取り入れには保険診療の抜本的見直しが必要とした。「医師の技術料という意味であれば」という微妙な言い回しをしているが、判断料や検体管理加算は検査の技術料としてきた同省への対応が重要になる“今年1年”である。

**日本臨床検査技師連盟  
平成 20 年度 加入者数**

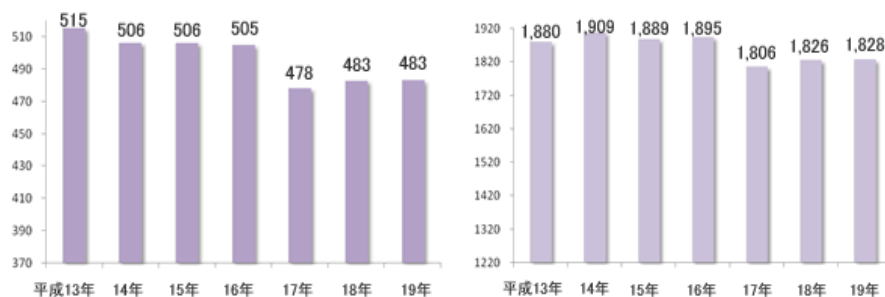
技師会		平成 20 年度累計	
		口数	納入者数
1	北海道	94	90
2	青森県	13	12
3	岩手県	19	15
4	宮城県	72	68
5	秋田県	26	26
6	山形県	18	14
7	福島県	40	39
8	茨城県	109	105
9	栃木県	155	152
10	群馬県	31	28
11	埼玉県	185	147
12	千葉県	9	2
13	東京都	94	81
14	神奈川県	36	32
15	新潟県	80	80
16	富山県	33	33
17	石川県	189	180
18	福井県	4	4
19	山梨県	28	22
20	長野県	63	50
21	岐阜県	21	14
22	静岡県	19	19
23	愛知県	86	80
24	三重県	31	28
25	滋賀県	12	10
26	京都府	25	20
27	大阪府	129	102
28	兵庫県	58	46
29	奈良県	99	93
30	和歌山県	115	85
31	鳥取県	46	45
32	島根県	65	58
33	岡山県	174	162
34	広島県	218	201
35	山口県	147	139
36	徳島県	51	51
37	香川県	31	30
38	愛媛県	116	104
39	高知県	58	56
40	福岡県	428	405
41	佐賀県	50	46
42	長崎県	184	167
43	熊本県	199	146
44	大分県	29	26
45	宮崎県	16	15
46	鹿児島県	62	55
47	沖縄県	50	47
合計		3,817	3,430

**臨床検査技師、平均年収500万円でランキング51位**



平成 19 年度の臨床検査技師平均年収は約 500 万円で、職業別ランキングでは 51 位であることが分かった。

平均給与は、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」を基にして算出されたもので、平均年収は 483.3 万円<別集計では 478.0 万円>、平均月収は 32.4 万円、平均時給は 1827.7 円、年間賞与等は 95.1 万円、総労働時間は 177 時間/月となっている。対象となったのは平均勤続年数で 11.9 年、平均年齢 38.2 歳である。



また、上左図は過去 7 年間の平均年収、上右図は同じく過去 7 年間の平均時給の推移である。

ランキングは 110 職種の集計であるが、トップは内閣総理大臣<4165 万円>で、次いで最高裁判所長官<3964 万円>、プロ野球選手<3751 万円>、国務大臣<3041 万円>、検事総長<2896 万円>と続く。行政関係では、事務次官が 6 位<2432 万円>、都道府県知事が 10 位<2097 万円>である。

また、医師が 11 位<2086 万円>、歯科医師は 19 位<904 万円>、獣医師は 36 位<582 万円>となっている。

コメディカル職種では、診療放射線技師 42 位<529 万円>、薬剤師 45 位<501 万円>、次いで臨床検査技師が 51 位<478 万円>となっている。続いて、看護師 55 位<462 万円>、理学療法士、作業療法士<65 位>が 415 万円<同額>、歯科技工士 70 位<399 万円>、准看護師 71 位<399 万円>、歯科衛生士 86 位<348 万円>、介護福祉士 90 位<333 万円>、栄養士が同額の<333 万円>、福祉施設の介護職員が 99 位<305 万円>となっている。尚、一般サラリーマンは、61 位<436 万円>のランキングである。

参考：年収ラボ<Web>、年収ランキング<Web>

**連盟会費の納入は  
お間違えなく！**

技師会費とは別です。  
連盟専用の振込み用紙を使用  
して下さい！